



様式第3号（第8条関係）

R364

'23.1.17

事業者達成状況報告書

R5 年/月/日

鳥取県知事 平井 伸治 様

届出者 住所 鳥取県境港市昭和町5番地17

氏名 三光株式会社  
代表取締役社長 三輪 昌輝  
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

鳥取県地球温暖化対策条例第8条第5項（第9条第3項）の規定により次のとおり提出します。

住所（主たる事業所の所在地）	鳥取県境港市昭和町5番地17							
氏名（名称及び代表者の氏名）	三光株式会社 代表取締役社長 三輪 昌輝							
主たる業種	88 廉棄物処理業							
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第1号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第2号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第3号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 特定事業者以外の事業者							
計画期間	2020年 4月 ~ 2023年 3月							
温室効果ガスの排出量等	排出区分	基準年度（実績） (2019) 年度 (二酸化炭素換算)	目標年度（計画） (2022) 年度 (二酸化炭素換算)	増減率	報告年度（実績） (2021) 年度 (二酸化炭素換算)			
	排出量（t）	3,149.0 t	3,087.0 t	△ 2.0 %	4,333.0 t 37.6 %			
実績に対する自己評価	WB工場の蒸気GJ/Vの不調により必要以上の蒸気が追げており、ムダに貯流ボイラー(A重油)を3ヶ月間使用してしまった。潮見工場においては火災の影響により機器が損傷したことにより、非効率な焼却(A重油を大量に使用)を行ってしまう結果となり、悪化してしまった。							
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	用途区分	原単位の指標	基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率			
	工場部門 潮見工場	二酸化炭素換算 処分量	0.04185 t-CO2/t	0.04100 t-CO2/t	△ 2.0 %			
	工場部門 (WB工場)	二酸化炭素換算 処分量	0.04237 t-CO2/t	0.04150 t-CO2/t	△ 2.1 %			
	二酸化炭素換算 処分量				%			
実績に対する自己評価	上記の内容を記載してあるがエネルギーの使用量が悪化してしまった点が主たる原因である。また主となる稼働設備が機能していなったため原単位の指標となる処理量が減ってしまった。							
寄与的取組	取組区分	目標年度（計画）		報告年度（実績）				
		実数値	二酸化炭素換算の削減量	実数値	二酸化炭素換算の削減量			
	再生可能エネルギーの利用による電力又は熱の供給	(充電量) kWh	t	(充電量) kWh	t			
	(熱供給量)	GJ	t	(熱供給量)	GJ			
	再生可能エネルギーの利用による二酸化炭素の排出削減の量等を表すものの購入	(購入量)	t	-	t			
	森林保全による二酸化炭素の排出削減の量等を表すものの購入	-	-	-	t			
	電気、ガスその他のエネルギーの使用的合理化による二酸化炭素の排出削減の量等を表すものの購入	(購入量)	t	(購入量)	GJ			
	削減量等合計（2）		0 t		t			
	差引排出量（1） - (2)	基準年度（実績） 3,149.0 t	目標年度（計画） 3,087.0 t	増減率（計画） △ 2.0 %	報告年度（実績） 4,333.0 t 37.6 %			
推進体制	毎月省エネルギー委員会の開催し、各拠点のエネルギー使用状況の確認及び省エネに対する情勢の流れを確認を行う。 電気使用量に關しては年々悪化しているので各機器に計測を行い、老朽化設備の更新及び高効率製品への変更を順次進めていく。							
年度ごとの具体的な取組及び措置の計画	年度	設備、対象、工程等	内容					
	2022 WB工場	減速機の入れ替え75KW→45KW 2基						
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物焼却炉の排熱を利用し、①2021年度は1,330MWhの発電を行った（全量自家消費）、②魚養殖のための温水熱源として利用した。③廃棄物乾燥の乾燥熱源にも利用した。これらによりCO2排出量を抑制した。</li> <li>・排出事業者の廃プラスチック類を圧縮固化し、2021年度は約25,000トンのRPFを製造した。RPFは石炭の代替燃料であるが、CO2排出量を約2/3に抑制することにより、CO2排出抑制に役立っている。</li> </ul>							
特記事項								

注1 該当する□には、レ印を記入してください。

2 本計画書における「温室効果ガス排出量」は地球温暖化対策の推進に関する法律第21条の2第3項に規定する「温室効果ガス算定排出量」の算定方法と同様の方法により算定した量をいいます。

3 本計画書は鳥取県内における事業活動について記載してください。

4 主たる業種には、統計法（平成19年法律第53号）第2条第9項に規定する統計基準として定める日本標準産業分類のうち中分類を記入してください。

5 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度をいいます。

6 「原単位当たりの温室効果ガス排出量等」の「用途区分」には、○○工場、事務所などの用途を記入してください。「原単位の指標」には、分子の「二酸化炭素換算」の下に分母となる指標（生産数量、延べ床面積、走行距離等）を記入してください。

7 「特記事項」には、平成2年度（1990年度）を基準とした排出量の対比や省エネ製品開発など他者の温室効果ガス排出削減への貢献、グリーン調達の採用などを記入してください。